

令和3年度 第1回瑞浪市化石博物館協議会会議録

日 時 令和3年6月22日（火）13時～14時30分

会 場 瑞浪市化石博物館レクチャールーム

出席者 <協議会委員> 大路 樹生（学識経験を有するもの）
松岡 敬二（学識経験を有するもの）
中山 京三（社会教育関係者）
西尾 京子（家庭教育の向上に資するを有するもの）
吉田 尚子（学校教育関係者）（会長）
<事務局> 和田 光浩（館長）・柄澤 宏明・安藤 佑介

1. 委嘱状交付

館長から新任の吉田委員に委嘱状を交付した。

2. あいさつ

館長から委員に挨拶を行った（内容は省略）。

3. 報告事項

令和2年度事業報告について

講座等令和2年度に実施した事業の結果を報告した。

・学校との連携について

委 員：学校との連携が進んでいることについては評価できるが、一過性の事業ではなく、将来を見据えた展開をしてほしい。また、明世小学校だけでなく市内の他の学校ともより踏み込んだ連携をしてほしい。

事務局：明世小学校との連携は、今後も先生と相談しながら継続して事業を行っていく予定である。他の学校では瑞浪小学校は毎年10月に連携授業を展開している。今後も理科部会などで呼びかけていきたい。

委 員：明世小学校6年生児童が作成したパンフレットの展示は良い試みである。博物館で展示するだけでなく、児童と協力して子供向けのパンフレットを制作し、来館者に配布してはいかがか。

事務局：パンフレット制作は昨年度初めて実施した試みである。ご意見も参考にしながら今後も学校との連携が多くの方の目につくよう努力したい。

委 員：学校との連携や子供向けだけでなく、大人向けの連携や企画もしてほしい。

事務局：みずなみかたりべの会という歴史案内ボランティア団体には養成講座などで化石について詳しい知識を普及している。

・新型コロナウイルス対策について

委 員：新型コロナウイルス対策として休館や講座中止以外に対策を行ったか。

事務局：講座の受講者数の見直しを行う、野外学習地の利用時間を2時間程度にするなど対策をとっている。

4. 協議事項

令和3年度事業計画について

- ・企画展等の開催について：本年度開催予定の企画展やフロア展示会の概要を説明した。

委員：昨年度企画していた展示会（魚の化石展）と今年度企画した展示会（瑞浪の化石展）では内容が大きく異なる。昨年度の企画展は延期して実施しないのか。

事務局：昨年度予定した企画展は内容を検討した結果、延期しないこととした。昨年度はアシカの化石が発見されるなど話題があったため、これを今年度の企画展とすることとした。

委員：展示会を行うのなら不定期でも学芸員が解説を行った方がよい。専門家の解説があると陳列するだけの展示よりも展示の価値が上がると思う。

事務局：解説会をイベントとして行うか、学芸員が対応可能な時に行うかを含めて検討したい。

- ・学校との連携について

委員：学校の先生は世代交代もあって、5年くらい前に連携を行っていても知っている先生が異動すれば無くなる恐れがある。継続的に理科部会で宣伝してほしい。

事務局：ご指摘を参考に教頭会や理科部会を積極的に活用したい。継続的に事業を実施するためにも定期的に情報発信を行っていくこととする。

- ・常設展示について

委員：展示やゲームの内容を少しずつでも変えた方が、リピーターが定着しやすいと思う。

事務局：予算的な制約もあるが、クイズ内容を更新するなど検討したい。また、展示替えについてはフロア展示を行うことで対応している。

- ・その他：次回協議会の開催時期について

委員：予算の前に来年度の事業について協議したい。

事務局：10月には開催する。9月までには候補日を提案する。